



あれから10年経つ福島を視察して脱原発の社会へ向けて思いを強くしました。

### 1- 脱原発を目指し、そして今後のエネルギー政策 2- 水道3事業の「みやぎ型管理運営方式」

再エネの普及を!

一般質問しました!

道路を挟んで右側が10年間立ち入り禁止の区域

#### 1-1\_福島から10年 多くの原発に関する課題について\_環境への配慮



環境問題

▶Q01 ーまずは女川原発について疑問を投げかけました。地元同意に指示せずの声が(地元紙世論調査による)県民の59%もありながら県として女川原発2号基再稼働が同意されている状況ですが、本当に正しい判断であったのか今改めて見解を伺いました。

▶A01 ー安全性の確保を大前提に、安全協定に基づく立入調査や指導を徹底するほか、避難計画の実効性向上など、原子力防災対策の継続的な充実強化に努めると答弁がありました。

▶Q02 ー福島第一原発の処理水放出の対応について質問しました。漁業者そして県民の民意を考えればまずは海洋放出に反対を宣言し対応すべきだと思うが今後この処理水問題にどのように対応するのか見解を伺いました。

▶A02 ー風評対策の提示を求め政府ワーキンググループに直接申し入れをし継続的に国や東電へ要望するとのことでした。

▶Q03 ー自民党内で原発の早期再稼働や増設を求める緊急決議をまとめたとの報道がされていますので見解を伺いました。

▶A03 ー再エネの最大限の導入などにより原発の依存度を可能な限り低減する必要があるとの回答でした。



県側の回答  
Answer

#### 1-2\_エネルギーミックス目標設定見直しについて\_環境への配慮



環境問題

▶Q01 ー2030年まで残り9年となった現在におけるエネルギーミックス目標の社会情勢に合わせた具体的提示をしなければなりません。それはいつを予定しているのか。またその具体的な目標をクリアするための年次アクションプランの提示はいつになるのか質問しました。

▶A01 ーCOP26までに国が見直しを行う「エネルギー基本計画」の動向を見極めながら2050年二酸化炭素排出実質ゼロの実現に向けての工程表となる「宮城県地球温暖化対策実行計画」などの見直しに早急に着手するとの回答でした。

▶Q02 ーCO2を多く排出する石炭火力発電については世界的に完全撤廃の動きが次々に発表され日本政府も石炭火力発電の在り方を大きく見直す方針を固めました。県内3カ所の火力発電所のCO2削減に向けた今後の計画を自治体として把握する必要があると見解を伺いました。

▶A02 ー火力発電所は他の発電方法と比べ温室効果ガス排出削減の観点では好ましいものではないと受け止めている。国際社会の動向などを踏まえたエネルギー基本計画の見直しにおいて国が決定すべきものであると考えているとのこと回答でした。

県側の回答  
Answer

そこで一言! 県民をファーストに考え、国に提言することを求めています。 □□□□□▷

裏面につづく